

令和6年度 第1回越前町地域公共交通活性化協議会

議 事 録

開催日時：令和6年6月17日(月)

午後1時30分から午後4時00分まで

開催場所：越前町生涯学習センター2階会議室1

●出席者

- ・委員：20名（欠席者1名）
- ・事務局：5名

●議事概要

- ・協議会の概要説明
- ・委嘱状の交付
- ・会長、副会長、監査委員を選任
- ・会長あいさつ

報告事項（1）令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について

	資料に基づき、事務局説明
委員	意見なし

報告事項（2）令和5年度路線バス及びコミュニティバス等の状況報告について

	資料に基づき、事務局説明
議 長	令和2年のコロナ禍以降、輸送人員の減少が続いていると説明があったが、現行の交通体系の効果や課題について町としてどのように考えているか？
事務局	新型コロナウイルスの影響により、令和2年度から輸送人員が大幅に減り、5類に移行した現在でもその人員は戻ってきていない。また、海岸線部を走る福鉄バスは人口減少に伴って、輸送人員も大きく減少している。

報告事項（3）自家用車活用事業（日本版ライドシェア）について

	資料に基づき、事務局説明
委 員	実証実験でタクシーの運行する時間帯を教えてほしい。
事務局	旅館等に宿泊した観光客の帰りの時間を想定しており、午前9時～正午までの3時間を想定している。
委 員	越前町は観光客向けの実証実験という認識でよいのか？ 国の制度概要をみると、タクシーが不足する時間帯（週末の夕方から深夜にかけて）に行う場合が多いが、そういう展望はあるのか？

事務局	今回の実証では、実際に利用ニーズのある時間帯で行っていく予定。今後の利用拡大については実証の結果を踏まえて検討していきたい。
委 員	今回は観光客向けのライドシェアということだったが、公共交通の利用が減少していく中で、地域内のライドシェアの導入についても検討していく必要があると思う。

協議事項（１）令和５年度協議会事業報告及び決算について

	資料に基づき、事務局説明
委 員	意見なし
採 決	承認

協議事項（２）令和６年度協議会事業計画及び予算について

	資料に基づき、事務局説明
委 員	計上されている補助金のみでデマンドタクシーの運行をしているのか。
事務局	運行自体は事業者に委託しており、協議会はこの補助金の受け皿となっている。補助金以外にも県や町の負担など他の財源も含めて運行している。
委 員	単純に運行費にかかる事業費は？
事務局	資料 P6 の内訳のとおり。
委 員	次の協議になるが、地域公共交通計画認定申請の中に書かれている活性化協議会として行われる取組みに連動する費用があがっていない。昨年も指摘したが、協議会で行われる取組みとそれにかかる予算の整理をお願いしたい。
議 長	他の協議会の決算・予算資料を参考に整理してはどうか。
事務局	了承した。
採 決	承認

協議事項（３）地域公共交通計画認定申請について

	資料に基づき、事務局説明
委 員	意見なし
採 決	承認

協議事項（４）デマンドタクシー乗降地点の新設と変更について

	資料に基づき、事務局説明
委 員	ドアツードア方式とは？
事務局	「自宅から定められた停留所まで」という意味のドアツードアということ。
議 長	仕組みを理解されていない方もいると思うので、これからも丁寧な説明を。
採 決	承認

協議事項（５）路線バス及び越前町コミュニティバスの運行ルート変更について

	資料に基づき、事務局説明
委 員	旧道からバイパスに合流する際に、バイパスを通る車のスピードが速く非常

	に危険を伴う。10月1日から変更と聞いたが、安全面を考えて、もっと早く変更してもらえないか。
運行事業者	変更の認可を受けるためには協議会での承認が必要なため、今回協議にかけていただいた。バスの国庫補助を受けており、手続きの関係上、10月1日からの変更でご理解いただきたい。
委員	資料の中で越前地区巡回ルート of 運行回数が平日5便とあるが、土日の運行を要望する。
議長	今後検討していただきたい。
採決	承認

協議事項（6）路線バス「福浦線」の廃止及び「鯖浦線」の再編について

	資料に基づき、事務局より概要を説明
運行事業者	引き続き資料に基づき、運行事業者より詳細説明
委員	福浦線がなくなることにより、織田から越前に降りるバスはなくなるのか。鯖浦線の最終便も時間が早くなるということか。
運行事業者	織田で「越前武生海岸線」に乗り換えていただければ越前に行くことはできる。最終便も「武生越前海岸線」は20時発がある。
委員	越前地区がかなり厳しくなるという印象。事業者の運転士不足等の事情は理解できるが、運行が不足する分は、町がその対応を考えてほしい。 廃止によって困る人の対応も町として考えてほしい。
委員	越前地区の地域住民の声になるが、 ・福浦線の廃止で、福井市内への通学を心配する保護者 ・福井市内の病院に行くバスがなくなること を心配している高齢者 ・障害を持つ子がバスで福井の事業所に通えるようになって仕事を再開したのに、廃線でまた辞めなくてはいけないことを危惧する保護者がいる。 西田中BTから日赤、福井駅へ直接行ける足を作れないか。福井へは電車に乗換えての移動とのことだが、非常に混みあっている。運行事業者の大変さは重々承知したが、行政がその穴埋めを考えてほしい。
委員	高校の選択については通学方法も含めて家族でよく話し合うべき。 それぞれの地域での事情はこの協議会で議論するのではなく、町に各地区でそういう場を設けていただきたい。 福鉄には他のバスへの接続等が分かるような時刻表をお願いしたい。
運行事業者	電車への接続も含めて分かりやすいものを示していく。
委員	福井市内の高校へ福武線からえち鉄に乗り換えて通学する子もいる。 京福・福鉄も含めて接続の分かりやすい時刻表をお願いしたい。
委員	人手不足というが、運転士の賃金は非常に低い。町の資料を見ると多くの赤字負担をしていただいているが、公共交通を残すためにバスに乗る運動も行ってほしい。また、運転士に採用された方への報奨金なども用意されている

	が、今いる運転士も大切にしてほしい。今いる運転士が辞めるから人手不足である。厳しい労働環境の中、何とか思いとどまってやっている。公共交通産業に携わる者のために、国県町も財政は厳しいと思うがお願いしたい。
委 員	地域の公共交通を考えるうえで、運行事業者だけでなく、国や県・市町も一体となってその原資を考えてほしい。
議 長	様々な意見の中で、県や国の考えは？
県	県とバス協会が連携し、昨年は体験会や奨励金、今年度は2種免許取得費用の負担など色々行っている。今後も様々な意見を聞き、サポートしていきたい。
福井運輸支局	国においても県やバス協会と連携し運転手確保の支援を行っているところ。交通については、利用人数が少ないバス路線はデマンドに置き換えるなどし、うまく町の地域公共交通につなげてほしい。
採 決	承認

●その他 地域公共交通ニーズ調査の実施について

	資料に基づき、事務局説明
委 員	設問が重複しており、分かりにくいものがある。このアンケートの結果をどのように使うか設計の段階で想定しておいた方がよい。デマンドタクシーのアンケートは利用者のみとのことだが、利用していない方の意見も聞いてみては？
委 員	デマンドタクシーのことにに関して、本日ここまで利用しようと思ったが、帰りの時間が分からず断念した。また、登録の申し込みから会員証が届くまでに1ヶ月かかった。その空白の間に利用したいときのために、何か対策できないか。実際に利用しようと思って分かってきたこともある。
議 長	アンケート内容の意見に関して、いつ頃までに伝えたらよいか。
事務局	7月20日頃までをお願いする。